



備前市男女共同参画社会の推進に関する 市民意識調査報告書

2025 年（令和 7 年）12 月

目 次

<u>I. 調査概要</u>	1
<u>1. 調査目的</u>	1
<u>2. 調査方法</u>	1
<u>3. 回収結果</u>	1
<u>4. 留意点</u>	1
<u>II. 調査結果</u>	2
<u>1. 男女共同参画社会の推進に関して</u>	2
<u>2. 自由意見</u>	9
<u>3. 回答者の属性</u>	17
<u>III. 巻末資料（調査票）</u>	18

I. 調査概要

1. 調査目的

この調査は、男女共同参画社会に関する意識と生活実態を把握し、次期（第 5 次）備前市男女共同参画基本計画の基礎資料とするとともに、今後の男女共同参画施策推進のための参考とすることを目的として実施しました。

2. 調査方法

本調査の実施概要は以下のとおりです。

項目	内容
①調査対象	市内在住の 18 歳以上 75 歳未満の男女 2,000 人
②抽出方法	2025（令和 7）年 10 月 15 日現在で満 18 歳以上 75 歳未満の市民から無作為抽出
③調査方法	調査票を郵送で配布し、回収（郵送回答とインターネット回答を併用）
④調査期間	2025（令和 7）年 10 月 17 日（金）～11 月 17 日（月） ※12 月 1 日（月）到着分までを集計・分析

3. 回収結果

※市民意識調査の回収結果です。太枠は男女共同参画に関する内容のみ実施したものです。

項目\年度	H27	H29	R1	R2	R3	R5	R7	R7 年
抽出数（件）	2,000	2,500	3,000	2,000	3,000	3,000	3,000	2,000
返送数（件）	0	6	0	1	10	6	8	8
実送付（件）	2,000	2,494	3,000	1,999	2,990	2,994	2,992	1,992
有効回答数（件）	815	836	945	640	1,041	902	1,125	636
有効回答率（％）	40.8	33.5	31.5	32.0	34.8	30.1	37.6	32.0

注）返送は、転居先不明などにより返ってきたものです。

4. 留意点

- (1) 結果は百分率で表示しました。百分率は小数点第 2 位を四捨五入したため、比率の合計が 1 0 0 %と一致しない場合があります。
- (2) 一部の人を対象とする質問では、質問対象者数を分母にして算出しています。
- (3) 複数回答の場合の百分率の合計は、100%を超えます。
- (4) 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。
- (5) 調査内容に合わない自由意見は、一部抜粋しています。

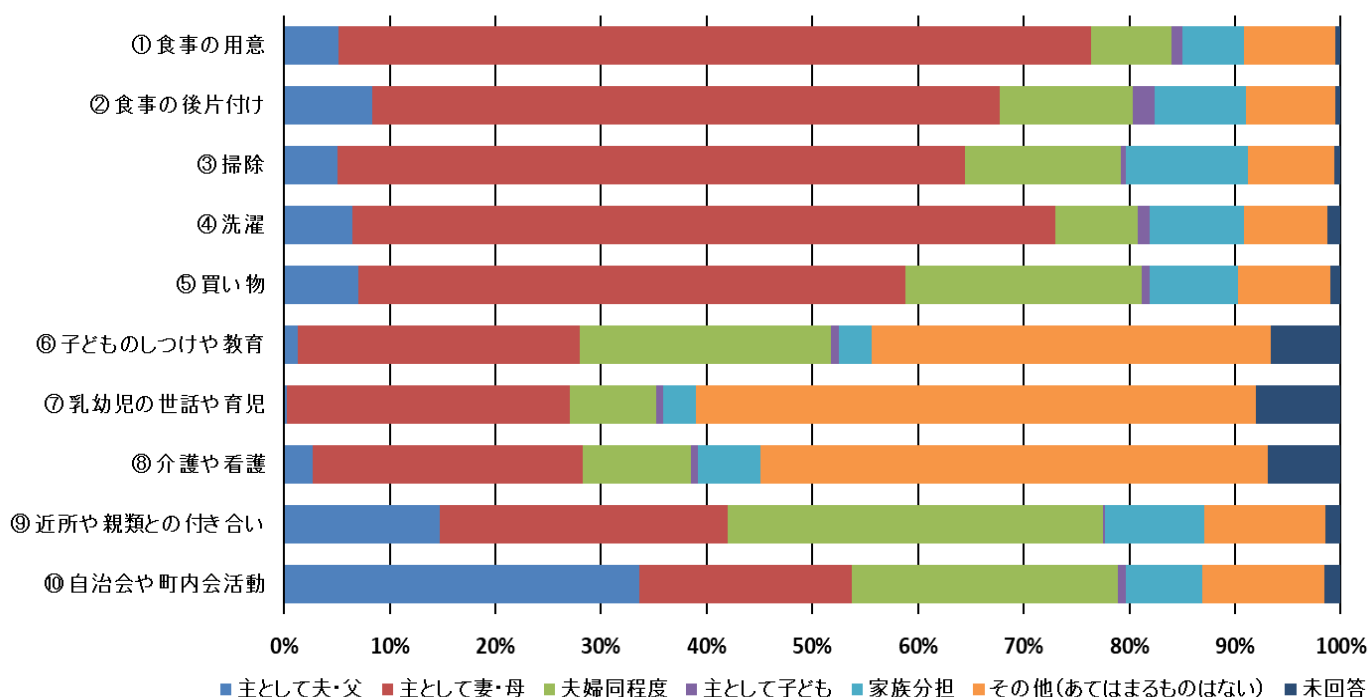
II. 調査結果

1. 男女共同参画社会の推進に関して

男女共同参画社会の推進に関する質問の調査結果は以下のとおりです。

① 日ごろの家庭での役割分担

日ごろの家庭での役割分担に関する調査（問 1 あなたの家庭では、日ごろ次のような役割を主に誰が行っていますか？）の結果、①食事の用意、②食事の後片付け、③掃除、④洗濯、⑤買い物は「主として妻・母」が役割を担っているが 7 割から 5 割程度となっています。また、⑥子どものしつけや教育、⑦乳幼児の世話や育児、⑧介護や看護は「主として妻・母」が役割を担っている 3 割程度となっています。⑨近所や親類の付き合いは「夫婦同程度」が 4 割程度となっています。⑩自治会や町内会活動は「主として夫・父」「夫婦同程度」が役割を担っているが同程度となっています。



	主として 夫・父	主として 妻・母	夫婦 同程度	主として 子ども	家族分担	その他	無回答	計
①食事の用意	33	453	48	7	37	55	3	636
②食事の後片付け	53	378	80	13	55	54	3	636
③掃除	32	378	94	3	73	52	4	636
④洗濯	41	423	50	7	57	50	8	636
⑤買い物	45	329	142	5	53	56	6	636
⑥子どものしつけや教育	8	170	151	5	20	240	42	636
⑦乳幼児の世話や育児	2	170	52	4	20	337	51	636
⑧介護や看護	17	163	65	4	38	305	44	636
⑨近所や親類との付き合い	94	173	226	1	60	73	9	636
⑩自治会や町内会活動	214	128	160	5	46	73	10	636

② 男性と女性の優遇

男性と女性の優遇に関する調査（問 2 ①あなたは、社会通念、慣習、社会制度について、男性と女性ではどちらが優遇されていると思いますか？）の結果、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が 318 件（50.0%）と最も多く、次いで「男女平等になっている」が 92 件（14.5%）、「男性の方が非常に優遇されている」が 66 件（10.4%）となっています。

男女の優遇	回答数	割合	n=636
どちらかといえば男性の方が優遇されている	318	50.0%	
男女平等になっている	92	14.5%	
男性の方が非常に優遇されている	66	10.4%	
どちらかといえば女性の方が優遇されている	39	6.1%	
女性の方が非常に優遇されている	6	0.9%	
わからない	113	17.8%	
無回答	2	0.3%	
総数	636	100.0%	

また、前問（問 2）で「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答した 384 名を対象とした、男性の方が優遇されている理由に関する調査（問 2-1 男性の方が優遇されている原因についてあてはまると思う番号を 3 つまで選んでください）の結果、「男女の役割分担について社会通念、慣習・しきたりなどが根強いと思うから」が 293 件（76.3%）と最も多く、次いで「男性のほう政策・方針の決定にかかわる役職についている人が多いと思うから」が 171 件（44.5%）、「能力を発揮している女性を適正に評価する環境や機会が欠けていると思うから」は 134 件（34.9%）となっています。

男性が優遇されている理由	回答数	割合	n=384
男女の役割分担についての社会通念、慣習・しきたりなどが根強いと思うから	293	76.3%	
男性のほう政策・方針の決定にかかわる役職についている人が多いと思うから	171	44.5%	
能力を発揮している女性を適正に評価する環境や機会が欠けていると思うから	134	34.9%	
男女の平等について、男性の問題意識が低いと思うから	116	30.2%	
女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないと思うから	111	28.9%	
育児や介護などを男女がともに担うためのサービスや制度がないと思うから	79	20.6%	
専業主婦に有利な税制や社会保障制度が男女の役割分担を助長していると思うから	30	7.8%	
男女の平等について、女性の問題意識が低いと思うから	19	4.9%	
女性の意欲や能力が男性に比べて劣っていると思うから	12	3.1%	
その他	9	2.3%	
無回答	0	0.0%	
総数	384	100.0%	

③ 女性の就業

女性の就業に関する調査（問3 あなたは、女性の就業について、どう思いますか？）の結果、「子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい」が 317 件（49.8%）と最も多く、次いで「結婚・出産を機に仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び就業した方がよい」が 173 件（27.2%）となっています。

女性の就業	回答数	割合	n=636
子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい	317	49.8%	
結婚・出産を機に仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び就業した方がよい	173	27.2%	
子どもができるまでには仕事をやめる方がよい	5	0.8%	
女性は就業しない方がよい	0	0.0%	
わからない	76	11.9%	
その他	58	9.1%	
無回答	7	1.1%	
総数	636	100.0%	

④ 女性が役職（管理職）に登用されていない理由

女性が役職（管理職）に登用されていない理由に関する調査（問4 あなたは、女性が政策・方針の決定にかかわる役職（管理職）にあまり登用されていない理由は何だとお考えですか？）の結果、「男性優位の組織運営になっているから」が 204 件（32.1%）と最も多く、次いで「結婚・出産を機に仕事をやめる人が多いから」が 117 件（18.4%）となっています。

女性が役職（管理職）に登用されない理由	回答数	割合	n=636
男性優位の組織運営になっているから	204	32.1%	
結婚・出産を機に仕事をやめる人が多いから	117	18.4%	
家庭、職場、地域における性別役割分担があるから	79	12.4%	
家事・育児等家庭を優先的に考えるため、責任ある役職につきたくないから	49	7.7%	
家族の支援・協力が得られないから	45	7.1%	
女性の能力の発揮機会が不十分だから	35	5.5%	
女性側の積極性がないから	23	3.6%	
職場や会議などに女性の構成員が少ないから	19	3.0%	
その他	35	5.5%	
無回答	30	4.7%	
総数	636	100.0%	

⑤ 男女の役割に対する意識

男女の役割に対する意識に関する調査（問 5 あなたは、男女の役割分担に対する意識についてどう思いますか？）の結果、「男女とも仕事を持ち、家庭でも責任を分担するのがよい」が 420 件（66.0%）と最も多く、次いで「男女の固定的な役割分担にとらわれず、女性が仕事を持ち、男性が家庭にいるのもよい」が 101 件（15.9%）となっています。

男女の役割分担に対する意識	回答数	割合	n=636
男女とも仕事を持ち、家庭でも責任を分担するのがよい	420	66.0%	
男女の固定的な役割分担にとらわれず、女性が仕事を持ち、男性が家庭にいるのもよい	101	15.9%	
わからない	30	4.7%	
男性は仕事、女性は家庭にいるのがよい	29	4.6%	
その他	27	4.2%	
男女とも仕事を持ち、家庭のことは女性が責任を持つのがよい	25	3.9%	
無回答	4	0.6%	
総数	636	100.0%	

⑥ 男女共同参画社会の実現のために行政がすべきこと

男女共同参画社会の実現のために行政がすべきことに関する調査（問 6 あなたは、男女共同参画社会の実現のために行政がすべきことは何だと思いますか？（○は 3 つまで））の結果、「病人や高齢者などの介護等に対する社会的サービスの充実」が 334 件（52.5%）と最も多く、次いで「保育サービスや学童保育など仕事と子育ての両立支援の充実」が 324 件（50.9%）、「出産休暇や育児休業などの制度の充実」が 324 件（50.9%）、「出産休暇や育児休業などの制度の充実」が 239 件（37.6%）となっています。

男女共同参画社会の実現のために行政がすべきこと	回答数	割合	n=636
病人や高齢者などの介護等に対する社会的サービスの充実	334	52.5%	
保育サービスや学童保育など仕事と子育ての両立支援の充実	324	50.9%	
出産休暇や育児休業などの制度の充実	239	37.6%	
職場における男女平等な取り扱い等の周知徹底	153	24.1%	
学校教育、社会教育などの場での男女の平等と相互の理解や協力についての学習の充実	152	23.9%	
女性の政策決定の場への積極的登用	99	15.6%	
女性の就労機会の確保と就業教育や訓練の充実	91	14.3%	
町内会など、地域コミュニティ活動における男女共同参画の推進	64	10.1%	
リーダー養成など女性の人材育成の推進	55	8.6%	
男女共同参画社会にかかわる情報の収集・提供	54	8.5%	
女性に対する暴力の防止及び被害者の支援促進	40	6.3%	
広報紙、講演会などによる男女の平等や慣習の見直しなどの啓発	32	5.0%	
その他	23	3.6%	
無回答	15	2.4%	
総数	636	100.0%	

⑦ DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行為

DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行為に関する調査（問 7 あなたは、今まで DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行為を受けたことがありますか？）の結果、「いいえ」が 530 件（83.3%）、「はい」が 53 件（8.3%）となっています。

DVと思われる行為を受けたことがある	回答数	割合	n=636
はい	53	8.3%	
いいえ	530	83.3%	
わからない	46	7.2%	
無回答	7	1.1%	
総数	636	100.0%	

また、前問（問 7）で「はい」と回答した 53 名を対象とした、DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行為の種類に関する調査（問 7-1 あなたは、次のどの行為を受けましたか？あてはまる番号すべてに○）の結果、「暴言を吐く、脅す、無視するなどの精神的暴力を受けた」が 42 件（79.2%）と最も多く、次いで「殴る、蹴る、物を投げつけるなどの身体的暴力を受けた」が 23 件（43.4%）となっています。

受けたことがあるDVと思われる行為	回答数	割合	n=53
暴言を吐く、脅す、無視するなどの精神的暴力を受けた	42	79.2%	
殴る、蹴る、物を投げつけるなどの身体的暴力を受けた	23	43.4%	
生活費を入れてくれない、外で働くことを妨げるなどの経済的暴力を受けた	11	20.8%	
外出を制限する、携帯電話・スマートフォンをチェックする、友人、親戚との付き合いを禁止するなどの社会的暴力を受けた	11	20.8%	
見たくないポルノビデオを見せられたり、いやがっているのに性的行為を強要されたり、避妊に協力してくれないなどの性的暴力を受けた	10	18.9%	
子どもの前でばかにされたり、責められたりされた（子どもを巻き込んだ暴力）	7	13.2%	
その他	5	9.4%	
無回答	1	1.9%	
総数	53	100.0%	

さらに、DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行為を受けたときの相談窓口に関する調査（問 7-2 DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行為を受けたときの相談窓口を知っていますか？）の結果、「知らない」が 357 件（56.1%）、「知っている」が 238 件（37.4%）となっています。

DVと思われる行為を受けたときの相談窓口	回答数	割合	n=636
知らない	357	56.1%	
知っている	238	37.4%	
無回答	41	6.4%	
総数	636	100.0%	

さらに、前々問（問 7）で「はい」と回答した 53 名を対象とした、DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行動を受けたときの相談先に関する調査（問 7-3 DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行動を受けたとき、どこへ相談しましたか？あてはまる番号すべてに○）の結果、「どこへも相談しなかった」が 24 件（45.3%）、「親族」「友人・知人」が同数で、それぞれ 11 件（20.8%）となっています。

DVと思われる行動を受けたときの相談先	回答数	割合	n=53
どこへも相談しなかった	24	45.3%	
親族	11	20.8%	
友人・知人	11	20.8%	
民生委員・児童委員	1	1.9%	
医師・カウンセラーなど	1	1.9%	
弁護士	1	1.9%	
人権擁護委員	1	1.9%	
警察	1	1.9%	
市や県の相談窓口	0	0.0%	
民間の相談機関	0	0.0%	
その他	1	1.9%	
無回答	0	0.0%	
総数	53	100.0%	

⑧ DV（ドメスティック・バイオレンス）をなくすために必要な支援や対策

DV（ドメスティック・バイオレンス）をなくすために必要な支援や対策に関する調査（問 8 あなたは、DV（ドメスティック・バイオレンス）をなくすには、どのような支援や対策が必要だと思いますか？（○は 3 つまで））の結果、「DV は犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であることの周知・啓発」が 279 件（43.9%）、「被害者への身の安全を保障できる場所（シェルター等）の提供」が 255 件（40.1%）、「被害者への弁護士、警察、裁判所などによる法的援助」が 215 件（33.8%）となっています。

DVをなくすために必要な支援や対策	回答数	割合	n=636
DVは犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であることの周知・啓発	279	43.9%	
被害者への身の安全を保障できる場所（シェルター等）の提供	255	40.1%	
被害者への弁護士、警察、裁判所などによる法的援助	215	33.8%	
加害者への罰則の強化	202	31.8%	
被害者への相談窓口をふやしたり、相談窓口の情報提供	157	24.7%	
被害者への経済的な自立に向けた支援	120	18.9%	
お互いの人権を大切にす教育の充実	119	18.7%	
加害者への指導やカウンセリング	111	17.5%	
被害者への医師、カウンセラーなどの医療・心理的援助	93	14.6%	
被害者に対する周囲の理解と協力	66	10.4%	
被害者支援サポーターとして身近に相談できる人を養成する	49	7.7%	
被害者への民間支援グループなどによる援助	22	3.5%	
暴力等を防止するためのセミナー、イベントなどの充実	19	3.0%	
その他	13	2.0%	
無回答	14	2.2%	
総数	636	100.0%	

⑨ 性的マイノリティ（LGBTQ+）とジェンダーの人権に関する問題

性的マイノリティ（LGBTQ+）とジェンダーの人権に関する調査（問 9 あなたは、性的マイノリティ（LGBTQ+）とジェンダーの人権に関し、現在、特にどのような問題が起きていると思いますか？（〇は3つまで））の結果、「差別的な言動を受けること」が 334 件（52.5%）、「職場・学校で、いやがらせやいじめを受けること」が 323 件（50.8%）、「性的指向及び性別違和のある人に対する理解が不足していること」が 307 件（48.3%）となっています。

性的マイノリティ(LGBTQ+)とジェンダーの人権に関する問題	回答数	割合	n=636
差別的な言動を受けること	334	52.5%	
職場・学校で、いやがらせやいじめを受けること	323	50.8%	
性的指向及び性別違和のある人に対する理解が不足していること	307	48.3%	
就職・職場で不利な扱いを受けること	238	37.4%	
じろじろ見られたり、避けられたりすること	189	29.7%	
宿泊施設・店舗などへの入居や施設利用を拒否されること	52	8.2%	
アパートなどの住宅への入居が容易でないこと	47	7.4%	
経済的に自立が困難なこと	24	3.8%	
その他	27	4.2%	
無回答	0	0.0%	
総数	636	100.0%	

⑩ 性的マイノリティ（LGBTQ+）とジェンダーの人権が守られるために必要なこと

性的マイノリティ（LGBTQ+）とジェンダーの人権が守られるために必要なことに関する調査（問 10 性的マイノリティの人権が守られるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか？（〇は3つまで））の結果、「学校などでの子どもたちの学習機会」が 254 件（39.9%）、「就労において差別されないような企業への働きかけ」が 223 件（35.1%）、「パートナーシップ証明書の発行など、社会制度の見直し」が 218 件（34.3%）となっています。

性的マイノリティ(LGBTQ+)とジェンダーの人権を守るために必要なこと	回答数	割合	n=636
学校などでの子どもたちの学習機会	254	39.9%	
就労において差別されないような企業への働きかけ	223	35.1%	
パートナーシップ証明書の発行など、社会制度の見直し	218	34.3%	
制服やトイレなど、教育現場での配慮	214	33.6%	
専門の相談窓口	200	31.4%	
広報紙やホームページ、講演会など、市民の理解促進のための啓発活動	182	28.6%	
性の多様性について交流を行うコミュニティスペース	110	17.3%	
性的マイノリティ支援宣言	62	9.7%	
当事者へのアンケート調査	52	8.2%	
その他	32	5.0%	
無回答	27	4.2%	
総数	636	100.0%	

自由意見

「男女共同参画社会に関することでご意見がありましたら、自由にご記入ください。」の結果は以下のとおりです。

No.	性別	年齢	自由意見(男女共同参画社会の推進について)
1	男	70歳代	結婚して子供達を育てて地域社会になじむ。
2	男	70歳代	女性の意見が少なく、意見がとりにくい 男女の仕事が固定されているように思う
3	女	60歳代	男女が平等に社会生活を営むことは大変難しいことだと思います。 家庭内でも夫婦が対等に生きていくことは難しいと感じております。
4	女	40歳代	男女の差などでなく、能力の差で決まることなので男女差別の問題にするべきではない そもそも個人の考えの問題なので行政の問題にすることではない
5	男	60歳代	男女共同参画というわりには女性に偏った選択肢が多いように感じました。
6	女	70歳代	問1、その他について 私のような 生涯、独身で仕事をしながら親の介護等をしています。男女とわず、そのような方のこれからの生活についても課題として必要と思う□
7	男	60歳代	問5の回答に記したように、この名称を付すること自体、制度設計のダメさを表象している。すべてのマイノリティがマジョリティと平等(=Equality)ではなく、公平(=Equity)であってほしい。大きさの違う台に載って、塀の向こうを覗く、有名な絵があるが、そのように、全ての人に、同じ景色を見られる台を、不平等に(=機会の均衡ではなく、享受できる事の均一性を目指して)配布してほしい。予算配分の指向性に、成長分野優先を採用するのは、最低限かつケースによっては該当なしにしてほしい。
8	男	60歳代	何でも秘密に相談できる場所と機会を増やす
9	未回答	未回答	アンケートする意味がわからない 芸能界とかTVで活躍している方を見るとたのしい素晴らしいと思います
10	女	50歳代	私自身は子供がいないので管理職に就いて仕事をしました。女性が活躍する職場で、活気と笑顔があふれています。しかし、結婚、出産となると、仕事を続けていくのが困難になります。 子供が病気になったり、保育園で具合が悪くなると休まざるをえない状況。本人も言いづらそうだし、申し訳なさそうでした。1週間も休むと、会社側としても問題が発生してきます。それに対して、いつも女性が休んだり早退。夫側は妻まかせ。社会としても、子供を預かるシステムを更に向上させるべきだと思います。
11	男	70歳代	備前市特に山間部の高齢者の男性は、女性が活躍する事は許せず、公務員でも高圧(公民館等)的言動が多いと思う
12	男	70歳代	各々の考えで良いが 他者へ迷惑掛けない事。
13	男	70歳代	これ以上、公的資金を使用しない。あらたな利権が発生する。
14	男	50歳代	自分の知識不足かもしれませんが、男女のくくり、老若男女、対等に暮らせれば良いな。 当然。目上、目上の人達への礼儀は必要です。
15	男	60歳代	まったく興味がない この様なアンケートは送ってこないで下さい。
16	女	40歳代	もっと気が楽に生きていける地域になれたらいいとおもう。 ・備前市として、介護している人、子育てしている人の支援応援の体制政策の考え発表 若い人が夫婦で親の地域に暮らせる市営住宅とか、空き家とか(少なくとも良いと思う)活用してUターンの人や若老人層。 ・性的マイノリティ支援宣言(この文だけでも良いと思う) 住んでいる人(市民にかんようさを広げていく。子供の頃から学校で学んでいたらフラットにつきあえると思う。私はもっと楽にLGBTQ +の人たちと友達になれると思っていた。人口の多い街はいると思うが。チームや派閥を決めてしまわない方がたぶんみんな生きやすい。
17	女	30歳代	男だから女だからではなく1人の人間として尊重されるべきだと思うので、このアンケートで何が知りたいのかよくわかりません。
18	女	60歳代	備前市において女性議員は非常に少ない。 女性達が自由に自分の意見や考えを述べる場者と機会が少ないのでしょうか。又、女性は男性より前に出てはいけないという思い込みがあるのでしょうか。回りには非常に有能で活動的な女性が沢山いるのにその意見が市政に反映されにくい環境なのかな、とどこかしい思いがあります。
19	女	70歳代	・家長制度の見直し ・地域活動の自由化(不参加でも問題のない様に)
20	女	70歳代	政治や役員の男女比が平等にならなければ、男女共同参画社会は築けない
21	女	30歳代	自宅保育をしていると、社会復帰するときブランクがどうしてもできてしまう。育児は履歴書に書くことができず、空白の期間がどうしてもできます。復職の難しさを痛感いたしました。子育てをするお母さん方の就活支援があるとうれしく思います。
22	女	60歳代	自分の納得のいく、よりよい社会になることを願っています。
23	男	40歳代	活動内容が分かるよう、発信活動に力を入れてほしい
24	女	50歳代	10代20代の若い方は、男だから女だから、とか性別に対する差別は少なくなり理解があると思うが、高齢になるほど差別や男女だからという意識があるように思う。昔は...とか、自分らが若い頃には...とか、そんな人達の意識改革は難しい。

No.	性別	年齢	自由意見(男女共同参画社会の推進について)
25	女	60歳代	日本にはまだまだ昔からの固定観念(男は外で仕事、女は家庭で家事・育児)があると思います。若い世代の人たちは少しずつ意識変化している気もしますが、まだ十分ではないし、男性には女性を支配したい気持ちがあるように思います。幼少期からの教育や周りの意識変化で次の世代の人たちには是非男女共同参画社会を実現してほしいですし、誰もが人として等しく生き生きと人生を歩むことができるような社会になってほしいと思います。
26	女	70歳代	男女共同参画社会で親夫婦が退職後月5～6回参加し、色々教えてもらったそうです。私は初めて、その言葉(男女共同参画社会)を聞きました。ずいぶん前のことです(備前市ではありません)。母が先に亡くなり、父が8年ほど1人で生活が出来ました。大変に良かったと喜んでいました。ありがとうございます。備前でもよろしくお願い致します。
27	男	60歳代	市民センターで講演会がありましたが、もう少しわかり易く行ってほしい。例をあげて説明して下さい。日々の生活に役立てていきたい。
28	男	40歳代	LGBTも含め、個人的に賛同できない。今は日本の貧困化が一番の問題。優先的に取り組む課題ではない。当該者が苦しんでいるのはわかるし、早急に対応策を講じるのは大事。ただし、マイノリティの主張にマジョリティが合わせないといけないのは、よくない。とにかく、こんな事で多額の税金を使わないでほしい
29	男	50歳代	LGBTQ+については、LGTとTQ+については別のものであるという認識が必要であると思う。LとGに関しては、パートナーシップ制度等で将来の財産分与等の問題を解決する方向を望みます。現行の婚姻制度を変える必要はないと思料致します
30	男	70歳代	子供の時から、男の仕事、女の仕事と区別せず全ての事に経験させるべきと親子に教える機会をもうけることです。
31	男	30歳代	○育児・介護をする男女相方への理解と補助 ○性によって機械を無くすのは良くないが、結果平等では選考に歪みが出てしまうので、機会平等の徹底 ○DVは男女共に加害者、被害者になり得るので、周知と被害者救済 ○正直どんな働き方であったり、家族のあり方であったりがあるといいので、寛容な社会になれば良いと思う。男だけ女だけという考え方は、不寛容だと思う。風呂やトイレのような性によって別れているものは、明確な線引きが必要。当事者が選ぶことができるよう明示するのが良い。この当事者はマイノリティの方だけでなく支援者やマジョリティの方も含む。そうした情報の提供に対して自治体が協力してくれるのが良いと思う。
32	男	60歳代	高齢化社会に福祉サービスを向上させてください。生きがいのある町づくりを提供してください。年齢がいき単身者が増えて老いのひきこもりが起こる。未然防止策をあてがってください。
33	男	50歳代	LGBTQ+とかジェンダーとか、さわぎすぎだと思います。そちらの方々に重きをおきすぎず、ふつうの性の方々にも気をくばるべきです。いじめはだめですが、区別(男性、女性の体)は必要です。(→ですの、性器を除去されている方は、女性でいいと思います)力も違いますので。
34	女	60歳代	幼児期からの学習や体験が重要。そのため家庭での教育が大切。学校教育でくりかえし学習し、平等に對しての知識を得るのが良いと思う。
35	女	60歳代	男女平等で女性の社会進出は喜ばしいことであるが、子育ての大切な時期(幼少期)に子どもを保育園等に預けて仕事をするのは、あまり賛成できない。どんな職種においても育休をしっかりと取得し、家庭で子育てできる社会環境こそ必要なことだと思う。子どもをもたない女性も、子育てをしている女性も、そして男性も含めた全ての社会が、もっと子育てに向き合ってほしいと思う。子を預けて女性を社会に出すことばかりに目が向いている気がする。
36	女	60歳代	この言葉自体がピンとこないですね。もっと身近でわかりやすいネーミングがあれば、いいなと思います。個人的には、自分もずっと働いてきたし、家事や育児は家族それぞれ役割分担をしてきたので、女性だけが、、、で困ったことはありません。よかったです！！
37	女	60歳代	○組織や政治分野における意思決定権を持つ役職に女性が少ない→クオータ制など強制的な参画 ○男女間の賃金格→雇用環境の整備 ○社会的意識・性別役割分担の固定化 ○相対的貧困率の高さ、DVなど→女性への支援強化 ○積極的なロールモデルの輩出 今の私に一番必要なのは、、、配偶者に言いたいことが言える勇気！ ストレス溜まっています
38	女	40歳代	多様性尊重の推進は重要ですが、性的マイノリティへの配慮が過度になり、安全面の検証が不足すると、制度の悪用や子ども、女性の安全リスクを招く懸念もあります(ジェンダーレストイレの例など)。慎重な運用を求めます。
39	女	50歳代	同じ仕事をしてても、男性と女性では給料がちがいがすぎる。男女での賃金の差をなくす法りつなどを作してほしい。能力が同じなら給料とかも同じであるべき
40	女	20歳代	このアンケート結果が見れるのはいつ頃か？女性だけでなく、男性にもこのアンケートを実施して、どのような違いがあるのか調査したらいいのに。片方だけのアンケートにする必要とは？正直、興味のある人は自ら進んで今回のアンケート内容等を調べるとは思うが、知らなかったり、興味のない人は調べることすらないから、その層の人たちをいかに周知させていく策を考え、実行するのがいいのではないかと素人ながらに思った。アンケートをした以上、我々の声が有意義に使われることを願っています。
41	女	60歳代	回りを思いやる心を持ちながら 自分を信じ、自分らしい事の大切さを知り、 自分も、他の人を大事な存在だと教え続ける事を心がけたいと思っています。 それが差別をなくす為に必要だと思います。
42	男	70歳代	当該問題は一朝一夕に解決されるものではないと思います。行政担当者の真剣な粘り強い対応を願います。

No.	性別	年齢	自由意見(男女共同参画社会の推進について)
43	女	60歳代	このアンケートは備前市独自のものでしょうか？問3以降の質問に違和感があり、返答していません。 具体的にいえば、女性の就業について聞くのに、なぜ男性の就業についてきかないのですか？それ自体が、男性は仕事、女性は子育て家庭という概念ありきの質問ではありませんか？女性が就業しようがいまいが、男性も積極的に子育て介護にかかわれる社会をつくっていくことが必要ではないでしょうか。今や女性がフルタイムで働き、男性が育休をとって子育てする時代ですよ。 済みません。以上がアンケートに 答えられない言い訳です。この結果の統計が、これからどのように施策に反映されるのか、見守っています。
44	女	30歳代	(問9の※性的マイノリティとは、…について) 多数派と異なるという表現や性別に違和感がある等の記述について不快な思いをする人がいるのでは と思った。こういったアンケートに書かれている言葉一つ一つにも配慮が必要なのではないでしょうか。
45	女	60歳代	田舎では、女性は軽視される。 長い歴史から、男性は優遇された社会で生きてきているから、今さら高齢者が勉強しても効果は小さい と思う。 自分に都合の良い言葉として「男女平等」を使う男性もいる。思いやりなど感じない。 若者たちのための、若者たちが将来差別なく、平等な社会で生きられる施策、町づくりをお願いします。
46	女	60歳代	表向きには男女差別なくと言いますが、まだ上に立つ人は一流大学男性となっているように思う。 仕事先でのいじめ何度か見てきて、上(社長)に伝えても、上の人の言葉を信じやめていくのもありまし た。男の人を大事にするのは変わらないと思う。
47	男	60歳代	この様なアンケートを紙にて行う事はムダである。 マイナンバーか、個人 TELとリンクしてサイトから入力すべきです。もったいない。 正直、高齢者は早くなくなる為、情報はいらぬ。
48	女	60歳代	私を含め、昭和世代の考えは古くうざいので、もっと若い人たちの考えを取り入れるべきです。
49	女	70歳代	男性の問題意識が少しでも高くなるよう願っています。 差別をしない学習機会を子供の頃から実施する。
50	女	60歳代	もともと男と女は違う。何もかも同じようにと言っても無理がある。男でも女でも仕事ができない人はでき ない。 ただ、子供を増やすこと前提での施策はもっと必要。
51	男	30歳代	社会の中で男女間の無意識的な差別はまだ残っていると思うので、それに対して、問題の顕在化と状 況の改善のための対策等を考えていかないといけないと考える。
52	女	70歳代	どんな活動も行動も始める事から支援が始まって、いろんな考えのいろいろな人の心に届いて行けるか もしれない。先日子供達がつったおりづる平和新聞を読んで <抜粋>「戦争の大変な中でも助け合う気持ちの大切さを学びました。相手を思うことから平和が始まると 思いました。」 男女共同参画社会も、皆んなの心の持ち方にあると思う(相手を思う・自分を思う)
53	女	70歳代	教育・経済格差が、激しい状態になっているので、その格差をなくして行く社会になれば良いと思いま す。人を思いやりのある心で、余裕が持てる社会に変わればいいのに、と思うばかりです。
54	男	70歳代	欧米に比べ、日本企業は女性の能力の育成や活用が進んでいないといわれている。昔から男性正社 員にあわせた働き方を女性にも求めてきたことが理由だと思われる。そのためには仕事内容や賃金の 男女差をなくすこと、フレックスタイムのような柔軟な働き方を広げること、セクハラ、パワハラなどのハラ ズメントがない職場作りが求められている。例えば育児介護休業法の改正により、男性も取得しやす くなった。女性の活躍を後押しすると思われる。 また情報化技術によって、出社しなくても自宅やサテライトオフィスで働くワークが普及してきた。仕事と 生活の調和(ワークライフバランス)を実現できるよう支援することが大切である。
55	男	60歳代	一気に変えるのは難しいが、小さい頃からの教育が一番大切と思う。
56	女	70歳代	自分に合った(悩みなど) 情報社会なので、インターネット、携帯など検索したりして少しでも1人でなやむ事のないようにしてほし い！
57	男	50歳代	男女共同参画とジェンダー等が同じアンケートになっている意味が理解できない
58	女	60歳代	家庭内での役割は家庭内で決めれば良い事だと思う。職場が働き易ければ、家庭での時間も充分取り やすく、家事、育児、介護等も共同で行いやすい。
59	女	60歳代	出産後、経済的問題もあり、早くから子供を保育園等にあずけて仕事に出るケースが多いのではない か？他国では出産後育児休暇を取っている間(2年か3年だったと思う)、月に16万～17万程度のお金 をもらえ、夫婦そろって育児休暇を取得すると32～35万円くらいもらえていたと思います。 子どもは夫婦二人で育てるものであることをきちんと国がサポートしていく体制が必要であると思う 今だに残っている社会通念や慣習、しきたりなどについて、まちがっていることは正し、男性も女性も同じ 様に分担し、責任を持って社会でも会社でも家庭でも生活していくのを学ぶ
60	女	60歳代	備前は海あり山ありと環境はいい町なのに 住みやすさがあまり感じられない。 もっと市民の意見を参考にしてほしい。 Bテラスも建物だけではなくて市民がよろこんでつかえるカフェやジムを作ってほしい。若者がかわいそ う。

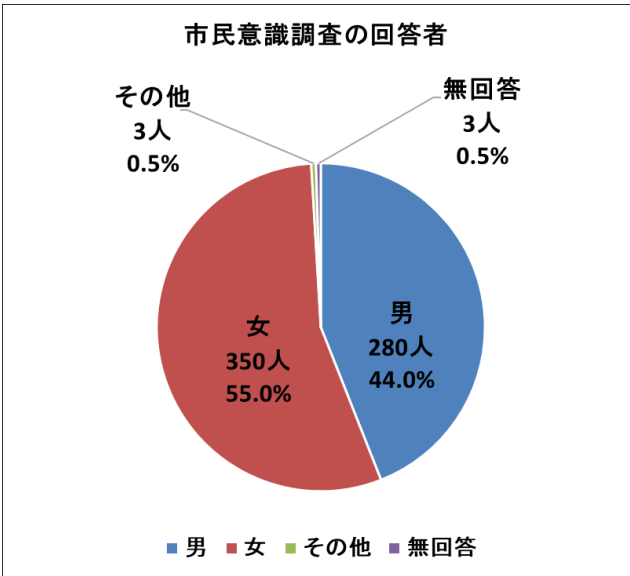
No.	性別	年齢	自由意見(男女共同参画社会の推進について)
61	男	50歳代	まだ詳しく理解していないのでわからない
62	女	70歳代	備前市の市議員が女性が一人しかいないのには、「あぜん」とした。市政にかんして、女性をもっと意見を言うべきだと思う。
63	女	50歳代	みんなが、楽しく暮らせるよう、それぞれの立場にたって考えたり知ること、よりよく過ごせていけたらいいなあ、と思います。
64	女	60歳代	20～40歳代まで勤務する会社等では、男性中心の仕事だった。仕事ができない男性にも給与が充分であり不満で今の仕事に就きました。今後もっと地域や職場で研修機会があったら良いと思います
65	男	50歳代	不必要(現代)とは思われる地域の当番制活動を無くしてほしい 主に婦人会、これは負担が大きいわりに意味がない。食育委員も
66	女	40歳代	田舎では価値観の古い年配者や因習が多く、若者の(特に女性)の都市部への人口流出の一因になっていると思われる。令和の時代になってもいまだに、女子は進学しなくてもいいとか、結婚が女の幸せだとか、家庭には入れだとか、子供はまだかとか平気で口にする人たちがいる。そういう人達の意識改革を促さないで地方の人口減少は食い止められないと思う。地方こそ男女共同参画社会への取り組みが喫緊の課題だと思う。
67	女	60歳代	男女共同参画社会といえば聞こえはいいですが、今のままでは女性の負担が重いばかりです。ずいぶん前に、男女雇用機会均等法というのができました。これで社会参加できて、仕事に家族に満足した女性がどれほどいたのでしょうか。古くからの社会の慣習や時代錯誤的な考えは、なかなか変わらないと思います。また、それぞれの家庭の事情も様々だと思います。こういうことを推進するには、今も残る慣習や古い考え方、男性達の意識改革をもっとかんがえていかないと、いつまでたっても家庭内の女性のしんどさは変わらないと思います。学校で教育しても家に帰れば習ったことは違う環境で子供達は育つのです。少しずつかわってるのだらうと思いますが、10歩進んで8～9歩戻ってることはありませんか？安易に進めることが良しとは思いません。とんでもなくしんどい思いをし、体調をくずし病気になる人もいられるかもしれません。男女雇用機会均等法ができた頃の私の姉です。今は、その頃よりは、ずいぶんよくなってるのだらうと思いますが、女性が不幸な状況にならないよう慎重をお願いします。
68	男	60歳代	アンケートありがとうございました。この結果まとめを楽しみにしています。
69	女	40歳代	女性に何足もわらじを履かせて、生活が豊かになるでもなく、ただただ責任ばかり負わされる。男性は何をしても、何もなくても責められない。生まれ変わるなら男性がいい。
70	女	40歳代	子供を産んで初めてわかったことだが、あまりにも女性負担が大きい。共働きだけど、夫は保育園への送迎もしないし、行事への参加も皆無。子どもが体調不良であろうが変わらず普通に仕事へ行く。正直今の若い人たちは育児に関わるお父さんが多い印象だけど、昭和生まれの我が夫は「俺の父はこんなだったから、俺も育児には一切加担しない」「そんな教育俺はされてない。」と宣言されています。ぜひ学校教育で、妊娠出産子育ての大変さを男女みんなにコンコンと教えてほしいと思いました。その大変さを知っていたら少しは女性を軽視しなくなるのでは？と思いました。実際特に老人に多い考え方で、男は外で働き、女は家で家事育児をしる。という古臭い考えの人が多い印象です。その人たちが社会にいる以上、女性の出世活躍は難しいのかなと思いました。世代交代、これがいちばんの近道なのでは？とも思います。
71	女	60歳代	初の女性総理が誕生して少しは意識改革になっているのではないかと思います。けど、まだまだ頭が古い人が多いのも現実です。 私の職場でお茶は各自でとか掃除を女性だけがするのではなく全員交代でと変えた時にもかなり苦情(年配者)が出ました。頑張って改革しましたけどね。 世間では男女平等と言いつつまだまだ改革点は多々あります。小さいことからコツコツと変えていかないといけないのでしょうね。 孫たちの世代には変わっていることを期待したいです。
72	男	40歳代	男女共同参画社会を目指すべきではあるが、地方では都会に比べてなかなか進みづらい現状にあると思う。また、女性の社会進出が進むのは良い事ではあるが、反面、地方においては人口減少が進んでおり、重要な役職等についた女性が、その職務の多忙さや重責から出産や子育ての機会を奪われないような社会にしていかなければいけないと思う。 男性が出産できない以上、ある程度の差ができるのは仕方がないので、差別、格差ではなく、不公平感が少しでも無くなるような役割分担ができる社会になって欲しい。
73	女	40歳代	介護、育児、就労、家事…と、女性に期待される役割はとて多い。 男性も、同じくらい上記を期待されるような世の中になって欲しい。 そして、それらを全部こなしているような状態の方に対する、支援も必要と感じています。 家庭にいる女性の多くは、自分がリフレッシュするための時間を持てていない。 睡眠不足、外部とのコミュニケーション不足、孤立していくことに日々うっすらと怯えています。
74	男	20歳代	平等にこだわりすぎる風潮は良くない。 「最低限において平等」かつ「社会の仕組み、需要に合わせてある程度公正」であることが、行政にとって大切なのではないのでしょうか。 繁華街にバーが10軒あって、そのうちオカマバーが1軒。オカマバーを禁止するなんてことはしてはいけないが、すべてのバーにオカマを雇用するように強要するのも社会としておかしい。 オカマバーに補助金を出すのも変だ。 オカマバーに客が少ないことに対して、国がオカマバーの宣伝をするのもだめ。 すべてのバーが、好きに商売できるような、平等な規制と、近くの公衆トイレの多目的を増やすくらいの手助けでいいと思う。 あとは、私は性的マイノリティです、対応しなさい。ではなく 私は性的マイノリティです、そんな私はこんなことを求めています、ビジネスチャンスです、対応してくれたら利用します！を言いやすかったり、 自治体が匿名の統計を取って、マーケティングに使える資料として周知するのもありか。

No.	性別	年齢	自由意見(男女共同参画社会の推進について)
75	女	60歳代	東京から移住してきました。この辺りは男性特に60代以上の方の男性優位当たり前で、女性特に妻に対する態度が高圧的だと見受けられます。東京で同じことをしたら、噴飯ものです。余計なお世話かもしれません。
76	男	60歳代	やはり世間ではまだ男女平等意識が低い事があります。職業的な自由選択肢はあっても内部組織では「女性」だと言う事で候補から外されたり、役職に就けなかったりとある意味差別的な状況もあり得る事です。先日も社内で「ちゃん」付け呼びが「セクハラに該当する」と言う判定がでました。やはりその点を見ても女性を見下していると判断されたからだと思います。このような社会現象はなかなか減らない状況にあります。
77	男	40歳代	今は男尊女卑がほぼ無くなってきていると思う。後は会社上層部の高齢による昔の考えを払拭する必要がある。
78	女	30歳代	育休取得中の生活が仕事をしてると同様の生活が送れたらいいと思う。女性ばかり育児で仕事を休んで収入が減り負担が大きすぎると思う。だから少子化も進むと思う。
79	女	40歳代	大内地区には今だに婦人部が存在し、集金業務などを行っている。昨年署名活動をして婦人部廃止の要望書を協議会に提出したが、進展はないようだ。協議会は男性の仕事、婦人部は女性の仕事と分けるのではなく、地域の仕事は全て協議会が行い、男女関係なく世帯ごとに役割を分担するのが時代に合った形ではないか。
80	男	30歳代	管理職の数のみを指標にした一部の発言力の強い人の意見に従って、少数派の大多数の意見が反映されていないケースがあるように思われます。世界的には市民感情が逆行している地域も見受けられ、中道もわからなくなっている舵取りの難しい局面ですが、より良い方針の策定とより良い未来の実現を願っております。
81	男	30歳代	LGBTや性的マイノリティについての考え方は今ぐらいの範囲にとどめておくべき。これをさらに強く主張すると、普通の人が生きづらくなる世の中も出ると思うので、その都度問題があれば話し合いする場があれば十分
82	女	60歳代	男性は、家事・育児・自分の親の介護・近所親戚付き合い・班長等の町内活動についても他人事！自分が家族運営の大切な一員で有る事を言っても自覚がまるで無い！妻は無報酬の家政婦では無い！ゴミ出しやリサイクルを頼んでも全く行かず寝転んでテレビを見てる！逆の立場だったらどうなのかとの思いに至らず、感謝の言葉も無い！して貰ったら「ありがとう」を言え！何度も言っているのに聞く耳を持たず、自分の事なんだと納得出来てない！記入していると夫への怒りが込み上げて来る
83	男	50歳代	LGBTQ+に対する差別は許されないが拒絶は自由だと思う。電車内で同性愛者がイチャついていたら私は席を変えます
84	女	40歳代	このアンケート自体に男女差別を感じます。項目の順番、質問の仕方…女性が、社会的に弱いという発信ではなくて女性が活躍している姿や男女関係なく家庭で役割分担をしている姿をたくさん発信してほしいです。
85	女	40歳代	男女ではなく、個人の尊重が大事。男女の身体的な差は埋められないので、そこを重視した社会進出を考えると無理がある。男女の前に人間なので、個人の意思の尊重が大事。
86	女	30歳代	女性を輝かせなくて良いから、男性と同じように普通に生きられる権利が欲しい。普通に働けば困らない賃金、意味の分からない身体的、精神的な男性へのケアを押し付けられたり、職場なのに性的サービスを強要されることのない環境。 性的マイノリティというが、「生まれ持った性別の違和感、性的自認」等という世迷い言を多様性という流行りに流されて、女子トイレや女性用のスペースへ男性が入ることへのハードルを下げないで欲しい。生まれた時の性別が男か女か、それは心の持ちようでは揺らがない。心が女と言えば女になるなんてあり得ない。 制服をスカートではなくズボンにしたなら、男になりたい訳じゃない。ただズボンを履きたいだけ。多様性は良いが、その中身が前時代的な価値観の踏襲にしかならない場合を多々見かける。余りに嘆かわしい。 女に生まれたというだけで背負わせられる負担が多すぎる。その不平等をどうか、本当に頑張って均して欲しい。

回答者の属性

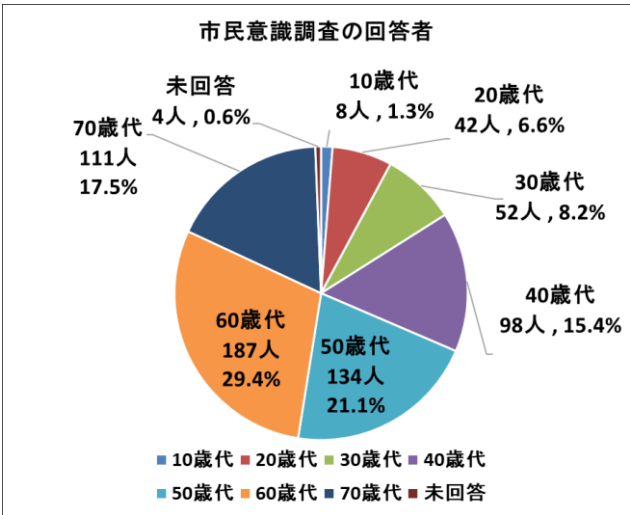
(1) 性別

回答者の性別は、「女性」が 55.0%、「男性」が 44.0%、「その他」が 0.5% となっています。



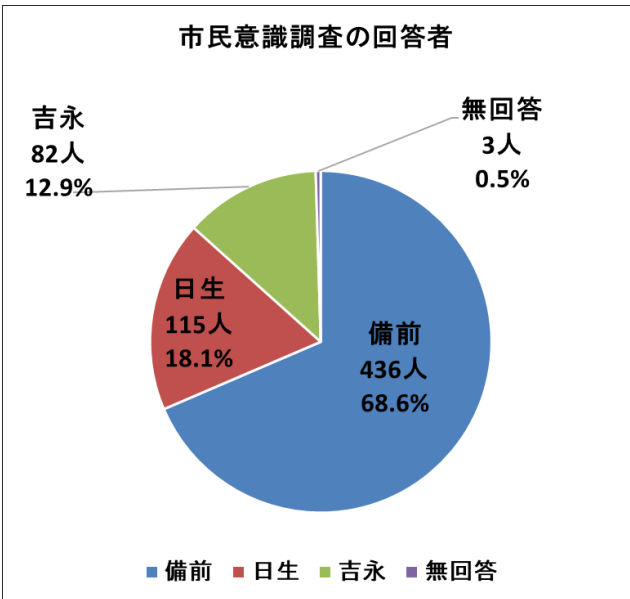
(2) 年齢

回答者の年齢は、「60 歳代」が 29.4%と最も高い割合となっており、次いで、「50 歳代」が 21.1%、「70 歳代」が 17.5%となっています。



(3) 居住地

回答者の居住地は、「備前地域」が 68.6%、「日生地域」が 18.1%、「吉永地域」が 12.9% となっています。



令和7年度 備前市男女共同参画社会の推進に関する市民意識調査

市民意識調査へのご協力をお願い

備前市では男女が共に支え合い、輝いて生きることができるまちづくりを進めています。この調査は、男女共同参画社会に関するお考えをお聞かせいただき、今後の施策の参考とすることを目的としています。質問に対する回答は、この調査票に直接ご記入いただき、返信用封筒にてご返送ください。

この調査は無記名でご回答いただき、調査の結果は統計的にのみ使用いたしますので、ご理解・ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年10月

備 前 市 長

アンケートは、同封の「返信用封筒」に入れ、
令和7年11月13日（木）までに投函してください。

ご記入にあたってのお願い

1. 質問には、必ず本人（封筒の宛名の方）がお答えください。
2. この調査にはお名前を記入する必要はありません。個人の秘密は厳守いたしますので、普段ご自分が考えていること、または行っていることがあればご意見をお聞かせください。
3. 回答は、あてはまる答えの番号を一つだけ選ぶもの、あるいは複数選ぶものがございます。お手数ですが質問を確認のうえ、番号に○をおつけください。
4. 質問の中には、○をつけた番号により、次の質問が問われるものがありますのでご注意ください。
5. お答えが、「その他」の場合には、番号に○をつけ（ ）内に内容をお書きください。
6. この調査に関するご質問、ご意見などがございましたら、下記までお問合わせください。

📍 インターネットでの回答も受け付けています。

左のQRコードを読み取って、スマートフォンやパソコンでご回答ください。下記のURLからもご回答いただけます。

<https://logoform.jp/f/HM4fE>



オンラインで回答された方は、紙の調査票の回答は必要ありません

《問合わせ先》備前市 市民生活部 市民課 協働推進係 〒705-8602 備前市東片上126
TEL：64-1806 FAX：64-4094 E-mail: bzkyoudou@city.bizen.lg.jp

問1 あなたの家庭では、日ごろ次のような役割を主に誰が行っていますか？

各項目ごとにあてはまる番号を1つずつ選んで○をつけてください。

※あてはまるものがない場合はその他を選択してください

	主として 夫・父	主として 妻・母	夫婦 同程度	主として 子ども	家族分担	※その他
1 食事の用意	1	2	3	4	5	6
2 食事の後片付け	1	2	3	4	5	6
3 掃除	1	2	3	4	5	6
4 洗濯	1	2	3	4	5	6
5 買い物	1	2	3	4	5	6
6 子どものしつけや教育	1	2	3	4	5	6
7 乳幼児の世話や育児	1	2	3	4	5	6
8 介護や看護	1	2	3	4	5	6
9 近所や親類との付き合い	1	2	3	4	5	6
10 自治会や町内会活動	1	2	3	4	5	6

問2 あなたは、社会通念、慣習、社会制度について、男性と女性ではどちらが優遇されていると思いますか？あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 男性の方が非常に優遇されている | 2 どちらかといえば男性の方が優遇されている |
| 3 男女平等になっている | 4 女性の方が非常に優遇されている |
| 5 どちらかといえば女性の方が優遇されている | 6 わからない |

問2-1 問2で「1 男性の方が非常に優遇されている」、「2 どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた方におたずねします。

男性の方が優遇されている原因について、あてはまると思う番号を3つまで選んで○をつけてください。

- 1 男女の役割分担についての社会通念、慣習・しきたりなどが根強いと思うから
- 2 女性が能力を発揮できる環境や機会が十分でないと思うから
- 3 能力を発揮している女性を適正に評価する環境や機会が欠けていると思うから
- 4 男性のほう政策・方針の決定にかかわる役職についている人が多いと思うから
- 5 男女の平等について、男性の問題意識が低いと思うから
- 6 男女の平等について、女性の問題意識が低いと思うから
- 7 女性の意欲や能力が男性に比べて劣っていると思うから
- 8 育児や介護などを男女がともに担うためのサービスや制度がないと思うから
- 9 専業主婦に有利な税制や社会保障制度が男女の役割分担を助長していると思うから
- 10 その他（ ）

問3 あなたは、女性の就業について、どう思いますか？

あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 子どもができて、ずっと仕事を続ける方がよい
- 2 結婚・出産を機に仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び就業した方がよい
- 3 子どもができるまでには仕事をやめる方がよい
- 4 女性は就業しない方がよい
- 5 わからない
- 6 その他（)

問4 あなたは、女性が政策・方針の決定にかかわる役職（管理職）にあまり登用されていない理由は何だ
とお考えですか？ あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

※国会議員における女性の割合は全体の19.0%（2024年11月現在データ内閣府HP参照）

- 1 家庭、職場、地域における性別役割分担があるから
- 2 結婚・出産を機に仕事をやめる人が多いから
- 3 男性優位の組織運営になっているから
- 4 家族の支援・協力が得られないから
- 5 女性側の積極性がないから
- 6 女性の能力の発揮機会が不十分だから
- 7 職場や会議などに女性の構成員が少ないから
- 8 家事・育児等家庭を優先的に考えるため、責任ある役職につきたくないから
- 9 その他（)

問5 あなたは、男女の役割分担に対する意識についてどう思いますか？

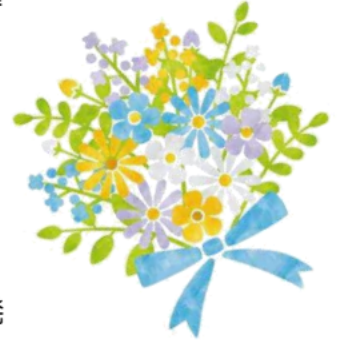
あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

- 1 男性は仕事、女性は家庭にいるのがよい
- 2 男女とも仕事を持ち、家庭のことは女性が責任を持つのがよい
- 3 男女とも仕事を持ち、家庭でも責任を分担するのがよい
- 4 男女の固定的な役割分担にとらわれず、女性が仕事を持ち、男性が家庭にいるのもよい
- 5 わからない
- 6 その他（)



問6 あなたは、男女共同参画社会の実現のために行政がすべきことはなんだと思いますか？
重要だと思うものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 病人や高齢者などの介護等に対する社会的サービスの充実
- 2 保育サービスや学童保育など仕事と子育ての両立支援の充実
- 3 学校教育、社会教育などの場での男女の平等と相互の理解や協力についての学習の充実
- 4 出産休暇や育児休業などの制度の充実
- 5 町内会など、地域コミュニティ活動における男女共同参画の推進
- 6 職場における男女平等な取り扱い等の周知徹底
- 7 女性の就労機会の確保と就業教育や訓練の充実
- 8 女性の政策決定の場への積極的登用
- 9 男女共同参画社会にかかわる情報の収集・提供
- 10 広報紙、講演会などによる男女の平等や慣習の見直しなどの啓発
- 11 リーダー養成など女性の人材育成の推進
- 12 女性に対する暴力の防止及び被害者の支援促進
- 13 その他 ()



問7 あなたは、今まで※DV（ドメスティック・バイオレンス）と思われる行為を受けたことがありますか？あてはまる番号を**1つ選んで**○をつけてください。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない

※DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、夫婦（恋人）間暴力のことで、パートナーからの暴力をいいます。殴る、蹴るなどの身体的暴力、言葉による精神的暴力、性的暴力などがあります。一般に「DV」と略して使われます。

問7-1 問7で「1 はい」と答えられた方におたずねします。あなたは、次のどの行為を受けましたか？あてはまる番号**全てに**○をつけてください。

- 1 殴る、蹴る、物を投げつけるなどの身体的暴力を受けた
- 2 暴言を吐く、脅す、無視するなどの精神的暴力を受けた
- 3 見たくないポルノビデオを見せられたり、いやがっているのに性的行為を強要されたり、避妊に協力してくれないなどの性的暴力を受けた
- 4 生活費を入れてくれない、外で働くことを妨げるなどの経済的暴力を受けた
- 5 外出を制限する、携帯電話・スマートフォンをチェックする、友人、親戚との付き合いを禁止するなどの社会的暴力を受けた
- 6 子どもの前でばかにされたり、責められたりされた（子どもを巻き込んだ暴力）
- 7 その他 ()

問7-2 DV(ドメスティック・バイオレンス)と思われる行為を受けたときの相談窓口を知っていますか。

1 知っている

2 知らない

問7-3 問7で「1 はい」と答えた方におたずねします。DV(ドメスティック・バイオレンス)と思われる行為を受けたとき、どこへ相談しましたか？
あてはまる番号全てに○をつけてください。

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| 1 親族 | 2 友人・知人 |
| 3 民生委員・児童委員 | 4 医師・カウンセラーなど |
| 5 弁護士 | 6 人権擁護委員 |
| 7 警察 | 8 市や県(女性相談所、男女共同参画推進センターなど)の相談窓口 |
| 9 民間の相談機関 | 10 どこへも相談しなかった |
| 11 その他() | |

問8 あなたは、DV(ドメスティック・バイオレンス)をなくすためには、どのような支援や対策が必要だと思いますか？必要だと思う番号を3つまで選んで○をつけてください。

- 1 DVは犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であることの周知・啓発
- 2 被害者への身の安全を保障できる場所(シェルター等)の提供
- 3 被害者への相談窓口をふやしたり、相談窓口の情報提供
- 4 被害者への弁護士、警察、裁判所などによる法的援助
- 5 お互いの人権を大切にする教育の充実
- 6 暴力等を防止するためのセミナー、イベントなどの充実
- 7 被害者への経済的な自立に向けた支援
- 8 被害者への医師、カウンセラーなどの医療・心理的援助
- 9 被害者に対する周囲の理解と協力
- 10 被害者への民間支援グループなどによる援助
- 11 被害者支援サポーターとして身近に相談できる人を養成する
- 12 加害者への指導やカウンセリング
- 13 加害者への罰則の強化
- 14 その他()



問9 あなたは、性的マイノリティ（LGBTQ+）とジェンダーの人権に関し、現在、特にどのような問題が起きていると思いますか？3つまで選んで○をつけてください。

※性的マイノリティとは、何らかの意味で「性」の在り方が多数派と異なる人のこと。

※ジェンダーとは、「性別」または「社会的性差（社会や文化によって作られた性別）」のこと。

- 1 職場・学校で、いやがらせやいじめを受けること
- 2 就職・職場で不利な扱いを受けること
- 3 差別的な言動を受けること
- 4 じろじろ見られたり、避けられたりすること
- 5 アパートなどの住宅への入居が容易でないこと
- 6 宿泊施設・店舗などへの入居や施設利用を拒否されること
- 7 性的指向及び性別違和のある人に対する理解が不足していること
- 8 経済的に自立が困難なこと
- 9 その他（

）

問10 性的マイノリティ（LGBTQ+）とジェンダーの人権が守られるためには、特にどのようなことが必要だと思いますか？3つまで選んで○をつけてください。

- 1 広報紙やホームページ、講演会など、市民の理解促進のための啓発活動
- 2 性の多様性について交流を行うコミュニティスペース
- 3 専門の相談窓口
- 4 性的マイノリティ支援宣言
- 5 パートナーシップ証明書の発行など、社会制度の見直し
- 6 当事者へのアンケート調査
- 7 学校などでの子どもたちの学習機会
- 8 制服やトイレなど、教育現場での配慮
- 9 就労において差別されないような企業への働きかけ
- 10 その他（

）



問11 最後にあなた自身のことについてお尋ねします。それぞれの項目ごとにお答えください。

(1) あなたの性別は？(○は1つ)

- 1 男
- 2 女
- 3 その他(体と心の性別に違和感がある人等)

(2) あなたの居住地は？(○は1つ)

- 1 備前地域
- 2 日生地域
- 3 吉永地域

(3) あなたの年齢は？(令和7年4月1日現在の満年齢で選んでください。○は1つ)

- 1 10歳代
- 2 20歳代
- 3 30歳代
- 4 40歳代
- 5 50歳代
- 6 60歳代
- 7 70歳代

男女共同参画社会に関することでご意見がありましたら、自由にご記入ください。



※ご協力ありがとうございます。

アンケートは同封の「返信用封筒」に入れ、令和7年11月13日(木)までにご投函ください。